

マラソン中止「残念」

知らずに来場した人も

クマの出没が相次いでいる道立野幌森林公園（江別市、北広島市、札幌市厚別区）で15日朝、再びクマが出没したため、公園内の野外博物館「北海道開拓の村」（札幌市厚別区）で同日開く予定だった「第2回夕焼けまらそん」は中止となった。知らずに会場に来た参加予定者もあり、主催する北海道歴史文化財団は参加費の返金などの対応に追われた。

（本郷由美子）

夕焼けまらそんは、夕焼けに染まる開拓時代の街並みを駆け抜けてもらおうと昨年初めて開催し、好評を博した。今回は419人が参加を予定していたが、クマが開拓の村から直線距離で約1・2キロの遊歩道に出没した。終了予定時刻は午後7時だったため「薄暗い時間帯に駐車場にクマが出

没したら、事故が起こりかねない」と、昼に中止を決定し、参加予定者一人一人に電話で中止を連絡した。中央区の会社員三浦定博さん(64)は、会場到着後に留守番電話を確認して中止を知った。「歴史的な街並みを走るのを楽しみにしていた」と残念そう。旭川から訪れた団体職員の中林玲

香さん(41)は「周囲の森はクマが出そうな雰囲気。仕方ない」と諦め、代わりに開拓の村を観光した。公園全体を管理する北海道博物館（札幌市厚別区）は同日、来館者に①公園に入ることを控える②入園する場合は単独行動しない③ごみは捨てないなどと呼びかけるビラの配布を始め

クマの出没で「夕焼けまらそん」が中止となり、参加者は付けから返金受け付けに変更されたテーブル15日、札幌市厚別区



た。博物館、開拓の村はいずれも16日以降も通常通り開館する。

夕焼けまらそん
本日の夕焼けまらそんは、皆様の安全を考慮して中止とさせていただきます
夕焼けまらそん
返金受付

た。博物館、開拓の村はいずれも16日以降も通常通り開館する。